

平成30（2018）年度 予算要求状況について

◎予算要求額

1. 要求総額

歳入	405億1,550万円	△2.4%（前年度当初予算比）
歳出	428億6,300万円	+3.2%（前年度当初予算比）
財源不足額	23億4,750万円	+2億750万円（前年度当初要求時比）

歳入のうち、基幹収入である市税は、法人税割や固定資産税（償却資産）の増収幅が固定資産税（家屋分）やたばこ税の減収幅を上回り全体で5,200万円（0.5%）の増額要求です。一方、実質的な地方交付税である普通交付税や臨時財政対策債の総額は減を見込んだほか、社会資本整備総合交付金等の国庫補助金の減を見込んでおり、歳入予算は405億1,550万円、10億1,360万円（△2.4%）の減額要求となっています。

歳出については、子ども子育て支援事業や特別会計への繰出金、生活保護費などの社会保障関係費の伸びに加えて、道の駅整備事業や工業団地整備事業の本格化に伴い、歳出予算は428億6,300万円、13億3,400万円（2.3%）の増額要求となりました。

これらにより、要求段階での財源不足額は23億4,750万円（前年度当初要求時比2億750万円の拡大）です。今後の予算編成過程でこの収支ギャップを解消していきます。

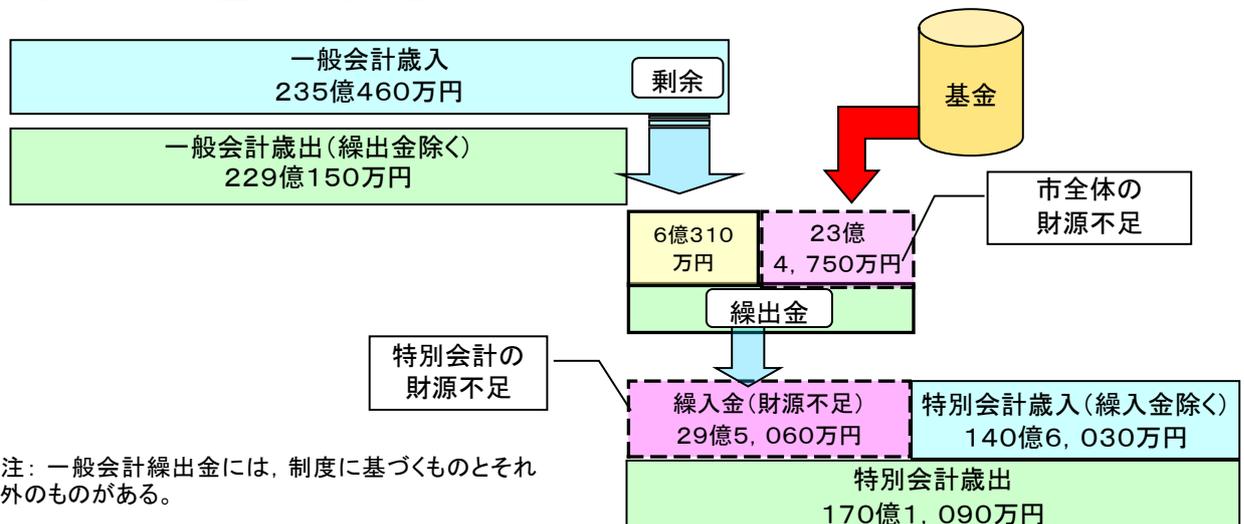
2. 会計別要求状況

（単位：千円）

会計名	平成30年度要求額		平成29年度 当初予算額	比較		増減率(%)	
	歳入	歳出		歳入	歳出	歳入	歳出
一般会計	23,504,552	25,852,094	24,300,000	△ 795,448	1,552,094	△ 3.3	6.4
国民健康保険事業	7,910,000	7,910,000	9,023,000	△ 1,113,000	△ 1,113,000	△ 12.3	△ 12.3
公共下水道事業	2,341,588	2,341,588	2,225,000	116,588	116,588	5.2	5.2
農業集落排水事業	67,808	67,808	70,000	△ 2,192	△ 2,192	△ 3.1	△ 3.1
介護保険事業	5,292,791	5,292,791	4,629,000	663,791	663,791	14.3	14.3
障がい児支援サービス事業	32,831	32,831	18,600	14,231	14,231	76.5	76.5
後期高齢者医療事業	1,350,237	1,350,237	1,242,600	107,637	107,637	8.7	8.7
介護サービス事業	15,689	15,689	20,900	△ 5,211	△ 5,211	△ 24.9	△ 24.9
特別会計合計	17,010,944	17,010,944	17,229,100	△ 218,156	△ 218,156	△ 1.3	△ 1.3
総計	40,515,496	42,863,038	41,529,100	△ 1,013,604	1,333,938	△ 2.4	3.2

※注：各特別会計の収支ギャップ(赤字)は、一般会計からの繰入金で調整。

○会計間の収支調整額（要求段階）



※注：一般会計繰出金には、制度に基づくものとそれ以外のものがある。

◎会計間の収支ギャップ調整の仕組み

1. 会計

区分	一般会計(繰出前)		特別会計(繰入前)	
歳入	235億460万円	+2.3%	140億6,030万円	△3.8%
歳出	229億150万円	+3.2%	170億1,090万円	△3.0%
財源不足額	+6億310万円		29億5,060万円	

※注:財源不足欄の+は、黒字。増減率は、前年度当初要求時比。

2. 特別会計繰入金要求状況(一般会計による補てん必要額)

(単位:千円)

会計名	平成30年度 要求額	平成29年度 当初予算額	比較	増減率 (%)
国民健康保険事業	873,653	732,185	141,468	19.3
公共下水道事業	473,825	407,375	66,450	16.3
農業集落排水事業	47,287	49,217	△1,930	△3.9
介護保険事業	784,930	723,851	61,079	8.4
障がい児支援サービス事業	20,539	6,478	14,061	217.1
後期高齢者医療事業	748,942	707,254	41,688	5.9
介護サービス事業	1,442	1,774	△332	△18.7
合計	2,950,618	2,628,134	322,484	12.3

◎今後の予算編成作業

予算要求段階での財源不足額は、総額23億4,750万円です。要求内容を精査し、事業効果・緊急性などを勘案した事業の厳選等によって歳出予算を削減するとともに、徴収率向上等による一般財源その他歳入を確保して、財源不足額の解消に最大限努力します。

なお、平成30年度政府予算案が未定のため、予算要求はおおむね現行制度に基づくものです。最新情報の収集に努め、今後の予算編成過程で弾力的に対応します。

また、平成29年度からを計画期間とする、当市の最上位計画である「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」に掲げる戦略に沿って展開する目標の実現に向け、具体的に推進していく施策に関連する事業については優先的に財源を配分し、その実行性を担保します。

【第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランにおける5つの戦略】

- 戦略1 若い世代の希望の実現「若者・子育て世代の定住環境の創出」
- 戦略2 教育環境の向上「まちづくりを担う人づくり」
- 戦略3 地域活性化「まちの活性化と認知度向上」
- 戦略4 地域力の向上「安全・安心で住みよい環境づくり」
- 戦略5 持続可能な行財政運営「将来につながる基盤づくり」

